

(様式第2号)

事業企画書(例1)

事業の名称	ゲームやスマートフォンと正しくつき合おう
団体名	さくら市立みらい小学校PTA
事業概要	1 この事業を提案するに至った経緯・背景 当校の児童のスマートフォンの所有率は、70%を超えた。スマートフォンを使うために、夜遅くまで起きている子ども、学習がおろそかになる子ども、SNSによる被害に巻き込まれる子どもが増えてきた。このままでは、子どもの学力や体力が低下する危機感を感じる。
	2 事業の目的及び効果 目的：子どもたちがゲームやスマートフォンと正しく付き合い、健康的で学習に集中できる生活習慣を身に付けることができるようにする。 効果：子どもがメディアと正しく向き合い、よりよい生活習慣を身に付けることができるように家庭でできることを考え、実践することで、家庭の教育力を高めることができる。
	3 事業内容（対象者、事業内容、実施方法等） <ul style="list-style-type: none">・保護者と子どもを対象とした「情報モラル講演会」（低・中・高学年別）・保護者、子ども、教職員、学校保健委員を対象とした「学校保健委員会」の開催・家族を対象とした「わが家のメディアルールづくり」・保護者や子どもを対象にした事業前後のアンケート・成果などを掲載したリーフレット作成・配布
	4 事業のスケジュール 6月 事業「ゲームやスマートフォンと正しくつき合おう」についての打合せ会議 7月 ゲームやスマートフォンのつきあい方のアンケート調査（事前） 8月 講演会や取組についての関係機関との調整 チラシ作成、参加者募集の周知 9月 親子講演会「ゲームやスマートフォンと正しくつき合おう」 *低・中・高学年別に3名の講師から指導していただく 11月 学校保健委員会 「わが家のメディアルールづくり」の提案 各家庭で実践「わが家のメディアルールづくり」 12月 ゲームやスマートフォンのつきあい方のアンケート調査（事後） 1月 アンケート結果や各家庭実践例を紹介したリーフレットを印刷し、配布
	5 事業終了後の取組予定または成果の活用 学校だよりや学校のホームページで、取組の成果を校区の全戸に配布し、「地域の子どもは地域で育てる」といった当事者意識を多くの方にもってもらい、地域の教育力を高める。 また、学級懇談で、事業後の子どもの様子について語る場を設け、事業の効果が長く続くようにする。

(様式第2号)

事業企画書(例2)

事業の名称	家庭教育で、いじめを防ごう														
団体名	あおぞら市立かがやき中学校PTA														
事業概要	1 この事業を提案するに至った経緯・背景 全国的にいじめ問題やいじめに関わる悲しい事件が後を絶たない。子どもが気持ちよく毎日を送れるように、学校だけでなく、家庭教育においてもいじめ防止に取り組んでいく必要がある。														
	2 事業の目的及び効果 目的：PTA活動を通して、家庭におけるいじめ防止に向けた教育を啓発する。 効果：家庭での取組を通じて、子どもたちの「いじめをしない」「いじめを許さない」という気持ちや実践的な態度が育つ。また、子どもたちのいじめに関する悩みなどを気軽に相談できる雰囲気家庭内につくることができる。														
	3 事業内容（対象者、事業内容、実施方法等） <ul style="list-style-type: none">・保護者、子どもを対象とした「友達とのかかわり」「いじめの実態」「家庭でのいじめ防止に向けた取組」に関するアンケート調査（事前事後調査）・保護者と子どもを対象としたいじめ防止講演会（学年別）・学年別PTAで「いじめ防止」に向けた懇談会やワークショップの実施・家庭での強調週間（「いじめ防止」のための話合い、悩み相談等）の実施・人権教育、同和教育に関わる保護者参画型授業の実施と授業後の家庭での振り返り・事業の検証（成果や課題の把握）・成果などを掲載したリーフレット作成、校区内への配布														
	4 事業のスケジュール <table><tr><td>6月</td><td>事業についての打合せ会議、アンケート調査（事前）</td></tr><tr><td>7月</td><td>講演会や取組についての関係機関との調整 チラシ作成、参加者募集の周知</td></tr><tr><td>9月</td><td>親子講演会「家庭でのいじめ防止教育の必要性」</td></tr><tr><td>10月</td><td>学年別PTAで「いじめ防止」に向けた懇談会やワークショップ 家庭での強調週間（「いじめ防止」のための話合い、悩み相談等）の実施</td></tr><tr><td>11月</td><td>人権教育、同和教育に関わる保護者参画型授業と家庭での振り返り</td></tr><tr><td>12月</td><td>アンケート調査（事後）</td></tr><tr><td>1月</td><td>アンケート結果や各家庭実践例を紹介したリーフレット配布</td></tr></table>	6月	事業についての打合せ会議、アンケート調査（事前）	7月	講演会や取組についての関係機関との調整 チラシ作成、参加者募集の周知	9月	親子講演会「家庭でのいじめ防止教育の必要性」	10月	学年別PTAで「いじめ防止」に向けた懇談会やワークショップ 家庭での強調週間（「いじめ防止」のための話合い、悩み相談等）の実施	11月	人権教育、同和教育に関わる保護者参画型授業と家庭での振り返り	12月	アンケート調査（事後）	1月	アンケート結果や各家庭実践例を紹介したリーフレット配布
	6月	事業についての打合せ会議、アンケート調査（事前）													
7月	講演会や取組についての関係機関との調整 チラシ作成、参加者募集の周知														
9月	親子講演会「家庭でのいじめ防止教育の必要性」														
10月	学年別PTAで「いじめ防止」に向けた懇談会やワークショップ 家庭での強調週間（「いじめ防止」のための話合い、悩み相談等）の実施														
11月	人権教育、同和教育に関わる保護者参画型授業と家庭での振り返り														
12月	アンケート調査（事後）														
1月	アンケート結果や各家庭実践例を紹介したリーフレット配布														
5 事業終了後の取組予定または成果の活用 アンケート結果や各家庭実践例を紹介したリーフレットを校区内に配布し、保護者や地域全体に、「いじめを防止しよう」という雰囲気を醸成する。															

